

授業科目名 (英文名)	Listening and Speaking 1 (A)	科目区分 対象学生	
単位数	1.00	開講年次・ 学期	1年次・前期
担当教員	大田垣 裕子	所属	看護学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	本講義では、日常の様々な場面において自然なスピードで発話される英語を理解し、その内容について自分の考えを筋道立てて話せるようになることを目的とする。また、本講義の到達目標は(1) 基礎的なリスニング能力を身につけること、(2)得られた音声データの内容理解を意見交換や議論を通じて深めること、(3)問題解決に向けての自分の意見をわかりやすく論理的に伝えられることである。		
講義内容・授業計画	本講義ではテキストの内容の要点を聴き取り、大事な部分はディクテーション等を通して細部まで聴き取る。短いプレゼンテーション・ディスカッションなどのアクティビティを通じて、データ分析力・批判的思考力を養い、論理的・説得的な英語表現能力を獲得する。 1. Class Orientation 2. Unit 1 What ' s My Job? 3. Unit 1. A Conversation with a Job Counselor 4. Unit 1. Focus on Speaking 5. Unit 2 Student Success Workshop 6. Unit 2 A Student Discussion 7. Unit 2 Focus on Speaking 8. Unit 3 A Barter Network 9. Unit 3 The Compact 10. Unit 3 Focus on Speaking 11. Unit 4 What ever happened to manners? 12. Unit 4 Our Listeners Respond 13. Unit 4 Focus on Speaking 14. Oral Book Report (by a half of the class) 15. Oral Book Report (by the other half of the class) 16. Final Test		
テキスト	Laurie Frazier, NorthStar: Listening and Speaking 2 Student Book with Mobile App & Resources, 5th Edition, Pearson (生協で購入する。)		
参考文献	エイザーの基本英文法・初級編(上・下) プレンティスホール出版社(明石看護キャンパス学術情報館にあり) その他、授業時に適宜指示。		
成績評価の基準・方法	成績の基準 様々なトピックについての音声データを理解し、それについての自分の意見を論理的にわかりやすく英語で話すことができる者に単位を授与する。 講義目的・到達目標に記載する能力(知識・技能、思考力、表現力等)の到達度に応じてSからCまで成績を与える。 成績評価の方法 定期試験50%を基準として、平常点(各ユニット到達度確認テスト20%、英語多読課題口頭発表10%、授業参加状況等20%)を含めて総合的に評価する。		
履修上の注意・履修要件	履修登録は必ず行うこと。授業にはテキスト・辞書・ノートを持参。出席が授業数の3分の2に満たないものは定期試験が受験できない。 授業中に指示した宿題をする、「講義内容・授業計画」に記載したテキストの該当箇所などについて、予習して授業に臨み、復習して学んだことを定着させること。 当授業は、対面での実施を基本としますが、新型コロナウイルス感染症対策として、自宅でのオンライン授業を実施する場合があります。自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。感染拡大等により授業方法が変更になる際は事前に連絡します。		

実践的教育	該当しない
備考	